

研究所だより

編集・発行

千葉県長生地方教育研究所

茂原市東郷富士見2300-1

TEL 0475(24)9721・FAX 0475(23)4820

H P <http://www.choseikaikan.or.jp/>メール kenkyujo@beach.ocn.ne.jp

「特別支援教育の視点からの学力向上について」

千葉県教育庁東上総教育事務所

所長 京極 敬之

1 はじめに

平成27年度の所長学校訪問が、5月15日からスタートしました。管内には、18の市町村(組合)教育委員会があります。都市部と異なり、市町村の規模は、大きくはありません。しかし、まだ訪問の途中ですが、感心させられたことは、財政状況の厳しい中、各教育委員会が、学校をしっかりとサポートしているということです。さらに各学校は、児童生徒の学力向上のために、学校の実態にあった様々な形で取組を進めていました。

しかし、近年様々な生活習慣や生活環境の中、通常学級にも配慮を要する児童生徒が年々増えています。そこで、特別支援教育の視点から、学力向上の手立てを検討してみたいはかがでしょうか。

すべての教員が、何らかの形で特別支援教育に関わることは、当然のことです。

したがって、各市町村や各学校でインクルーシブ教育システムの構築のための理解と実践的取組がますます推進されますようお願いいたします。

2 国・県の施策について

(1) 「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」プロジェクトⅡ、元気プロジェクト施策10に「一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進」が示されています。今回特に重要視していることは、早期からの教育相談体制を整え、卒業後を見据えた連続性のある多様な学びの場を確立することです。そして教員個々のさらなる専門性の向上です。

(2) 障害者基本法の基本的な理念に則り、全ての障害者が障害者でない者と等しく、基本的人権を共有する個人として、その尊厳が重んじられその尊厳にふさわしい生活を保障される。「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行(H28.4.1)があります。

3 東上総教育事務所の特別支援教育の重点方針

「すべての教職員の特別支援教育に関する理解の深化と、校内支援体制の充実を図る。」というテーマを掲げ、下記の5つを重点方針として、各市町村(組合)教育委員会、そして各学校を指導・支援して参ります。

〔重点方針とは〕

- (1) 特別支援教育に関する理解・深化のための研修の充実を図る。
- (2) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを推進する。
- (3) 合理的配慮を提供するための「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」の作成と活用を促す。
- (4) 適正な教育課程の編成に基づいた交流及び共同学習の推進を図る。
- (5) 関係機関とのネットワーク整備による連携の強化を図る。

4 東上総教育事務所管内の現状と課題について

(1) 交流および共同学習の推進の観点から交流及び共同学習についての教職員の理解の向上を図る。

交流及び共同学習は、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒の相互理解を促進することを目的に行われ、児童生徒の将来の自立と社会参加に向けた重要な取組である。

(2) 特別支援教育に対する理解・深化、ユニバーサルデザインの視点からの改善

① ユニバーサルデザインとは、年齢や障害の有無に関わらず、すべての人が使いやすいように工夫された用具・建築物などのデザインの意味であることの再認識を図る。

② 障害の有無に関わらず、どの子もわかる授業や安心できる環境をめざし、教材・教具、黒板の文字・掲示物などについて、わかりやすい、使いやすい形・大きさ・色などを考慮した教材・教具をユニバーサルデザインの視点から工夫改善し全校で取り組む。

③ 授業の内容においても、ユニバーサルデザインの視点から発問や授業構成、板書計画等について工夫改善を図る。

(3) 幼小中高の連携強化と接続時の適正な情報共有幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校が、相互に連携を密にし、一貫した指導・支援の積み上げを実現することが大切である。

さらに、進学に向けた連絡会や情報提供、個別的教育支援計画や個別の指導計画を活用した引き継ぎ、相互授業参観など、連携のための工夫が望まれる。

(4) 特別支援学級担任や通級指導教室担当者、通常学級担任の専門性向上と特別支援学校教諭免許取得率の向上

5 管理職の役割

特別支援教育を学校経営の中心と捉えた実践

(1) すべての教職員が、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れたわかりやすい授業づくりを進める。

(2) 特別支援教育に関する校内委員会の設置と定期開催を推進する。

(3) 特別支援教育コーディネーターの複数指名をする。

(4) 市町村費の特別支援教育支援員や介助員等の活用について、校内で担任や他の教職員と指導・支援について共通理解を図るとともに、それぞれの支援員の資質能力を高める研修を充実させる。

(5) 校内研修会の充実や外部研修等の活用を推進し、すべての教員の特別支援教育に関する資質能力の向上を図る。

(6) 学校で想定される様々な「配慮」の合理的な範囲を関係者間で明確にし、共通理解を図る。

(7) 特別支援教育コーディネーターや校内委員会が中心的な役割を担うことができるようにするため、組織体制や内容、運営について配慮する。

(8) 特別支援アドバイザーを活用する。

(9) 特別支援教育担当指導主事(3名)による要請訪問を計画する。

(10) 特別支援学校のセンターとしての役割を生かすため、特別支援学校特別支援教育コーディネーターとの連携に努める。

6 おわりに

本教育事務所は、「すべては、子どもたちのために」をスローガンに掲げ、各市町村教育委員会や学校への指導・支援を行っています。どうか各学校におかれましては、同様の視点で日々の教育実践を進めていただきたいと思います。

長生郡・茂原市小・中学校「研究主題と研究仮説」

長生郡・茂原市小中学校の「研究主題と研究仮説」について紹介いたします。各学校の研究に役立てていただければと思います。

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
東郷小	豊かに表現する児童の育成	<ol style="list-style-type: none"> 1 語彙を豊かにする工夫をすれば、言語機能が高まり、自分の考えや思いを適切に表現できるようになるであろう。 2 生徒指導の機能を生かす工夫をすれば、相手の考えや思いを理解し尊重しようとすることができ、表現力も高まるであろう。 	全教科
豊田小	自分の思いや考えを持ち、伝えあうことができる児童の育成 ～「学び合う学習活動」を生かした単元づくりを通して～	児童に付けたい力を明確にして、「単元を貫く言語活動」を設定し、「学び合う学習活動」を生かした単元づくりの工夫をすれば、児童一人一人が課題に向き合い、自分の思いや考えを持ち、それらを伝えあい高め合うことができるだろう。	全教科
二宮小	共に学び合い、思考力を高める子どもの育成 ～算数的活動を工夫した学び合い活動を通して～	算数科において、以下の点を重視しながら単元を構想し、算数的活動の場の工夫をすれば、自分の考えを持ち、友だちと学び合い、思考力を高めていくことができるだろう。 (1) 自分の考えを言葉、式、図などで表す算数的活動の場の設定 (2) 目的を明確にした学び合いの場の設定	算数科
茂原小	人とのかかわり合いを楽しむ子どもの育成 ～外国語の活動を通して～	発達段階に応じた活動の場や方法を工夫すれば、人とのかかわり合いを楽しむことができ、コミュニケーション能力の素地を養うことができるであろう。	外国語活動
茂原西小	自分の思いや考えを確かに表現できる児童の育成 ～算数科を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 導入や教材／教具を工夫すれば、児童の読み解く力が向上し、一人一人が見通しを持って解決できるであろう。 2 場の設定の工夫や伝え合いの工夫をすることにより、筋道を立てて考える力がつき、表現力を高めることができるであろう。 	算数科
五郷小	どの子にも「わかる」「できる」楽しさを味わわせる学習指導 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた算数科授業を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 どの子も学びやすい学習環境を整えていけば、学ぶ意欲が高まり、学ぶ楽しさを味わわせることができるであろう。 2 さまざまな言語活動を授業の中に取り入れれば、自分の考えを分かりやすく説明し伝えたり、友達の考えを聞いて自分の言葉で表現したりすることができるであろう。 	算数科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
鶴 枝 小	仲間とかかわり合いながら、わかる喜び、できる喜びが味わえる体育の授業づくり	<ol style="list-style-type: none"> 1 仲間とかかわり合いが持てる場の設定の工夫をすれば、仲間とのほげまし合いや助け合いが増え、意欲が高まり、わかる喜び、できる喜びが味わえるであろう。 2 児童の実態や発達段階に応じた指導方法の工夫をすれば、学習の仕方や運動の方法がわかり、わかる喜び、できる喜びが味わえるであろう。 	体 育 科
萩 原 小	確かな国語力を育む言語活動の授業づくり ～「読むこと」の学習を中心に～	身に付けさせたい力を明確にし、適切な言語活動を位置付けて単元を構成すれば、児童の国語力を育てる授業をつくることができるだろう。	国 語 科
中 の 島 小	自ら考え、生き生きと問題解決に取り組む子どもの育成 ～算数科の学習を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 習得したことを活かして思考できるような手立てを工夫すれば、自ら考える力が身につく、意欲的に学習に取り組むであろう。 2 算数的活動の時間を確保して十分活動させれば、自分なりの方法で解決したり、考えを多様に表現したりすることができるであろう。 	算 数 科
本 納 小	基礎・基本の習得を図る「わかる授業」の創造を目指して	ねらいを明確にした作業的・体験的な活動を取り入れたり、意図的に既習事項を活用する場を設定したりすれば、わかる授業を展開することができ、基礎・基本の習得を図ることができるであろう。	算 数 科
新 治 小	自分の考えを持ち、伝え合う力を育む国語指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 付けたい力を明確にし、適切な言語活動を位置付けて単元を構成すれば、一人一人が意欲的・主体的・共同的に学び合い、書く力を育成することができるだろう。 2 児童の読書意欲を高め日常の読書活動を活発にすれば、語い力や言語の経験も増え、児童が内容を正しく読み取り、考えを持つ学習を支えるだろう。 	国 語 科
豊 岡 小	考える楽しさを味わう算数学習の創造	<ol style="list-style-type: none"> 1 算数科の基礎・基本の定着を図る工夫をすれば、一人一人が既習事項を使って、自力で問題解決ができ、考える楽しさを味わえるようになるだろう。 2 問題解決のための見通しをもち、主体的に考えることができれば、考える楽しさを味わえるようになるだろう。 3 既習事項を使って、多様な考えをもち、それを様々な方法で表現できれば、考える楽しさを味わう算数学習になるだろう。 4 児童が考えた様々な解決方法を共有し、良さの視点から比較検討する場を設定すれば、考えが深まるとともに、考える楽しさが感じられるようになるだろう。 	算 数 科
東 部 小	読む力を高める国語科学習指導	児童一人一人が目的意識を持って学習に取り組むことができるような学習計画を立て、単元で目指す姿を例示すれば、読む視点が明確になり、文章を読み取る力を高めることができるであろう。	国 語 科
緑ヶ丘小	思考力・表現力を高める算数指導のあり方 ～相互が学び合う言語活動を通して～	「見出す」、「調べる」、「深める」、「まとめあげる」の4つの学習プロセスで授業を構成し、算数科における相互が学び合う言語活動を学習過程に工夫してとり入れれば、児童の思考力や表現力が高まるであろう。	算 数 科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
東浪見小	望ましい国語力を身に付けた子どもの育成 ～「読むこと」の学習指導を中心として～	「読むこと」を中心とした国語科学習において、「身につけさせたい力」を明確にし、そのための言語活動を設定し手立てを工夫すれば、「読む力」を伸ばすことができるであろう。	国語科
一宮小	できた喜びを感じる児童の育成 ～基礎・基本の定着を図り、それを活用して課題を解決する授業づくり（算数科を通して）～	算数的活動を充実させ、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着に努めるとともに、身に付けた力で自力解決する授業の展開を図ることで、できた喜びを感じる児童が育つであろう。	算数科
白潟小	自分の考えをもち、表現できる子どもの育成 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた国語科の学習～	1 発達障害の可能性のある児童の早期発見に基づいた児童理解と適切な指導・助言。 2 誰もが生活しやすく学びやすい環境の整備。 3 児童の実態を把握し、誰もが「わかる」「できる」を実感する授業研究の推進。	国語科
南白亀小	読書活動を楽しみ、豊かな読書生活ができる児童の育成	1 発達段階に応じた読書指導を効果的に行えば、読書好きな児童が育ち、本離れを防ぐことができるだろう。 2 読書の時間を学校生活及び家庭生活においてしっかりと確保し、保証すれば、望ましい読書習慣の形成を図ることができるだろう。 3 国語科の授業の中で、本好きになるような読書活動を工夫し、意図的に数多く取り入れることで読書への興味・関心が高まるだろう。	国語科
関小	一人一人が輝き、「わかる」喜びを味わえる授業づくり ～算数科の学習を通して～	1 基礎的・基本的内容の習得を図る手立てや個に応じた支援方法を工夫していけば、「わかる」喜びを一人一人に味わわせることができるだろう。 2 ノート指導や比較検討場面での話し合いの仕方を工夫していけば、自分の考えを分かりやすく表現し、互いに学び合う力が育つだろう。	算数科
長柄小	思いやりの心を持って、行動できる児童の育成 ～道徳の授業内容の充実と福祉教育の視点からのアプローチをと～	1 様々な教育活動に道徳的な視点を加味しながら指導することによって、児童は生きる力を育むとともに道徳的実践力が身につくであろう。 2 福祉教育推進の具体的な活動をとおして、思いやりの心を具体的な形で表現できる児童に育つであろう。	道徳
日吉小	確かな学力を身に付けた児童の育成 ～算数科における基礎・基本の定着を図る授業改善を通して～	1 算数的活動を通して、児童の実態に応じた指導や反復による指導を行えば、基礎的・基本的な知識や技能が定着するであろう。 2 みのりタイムや家庭学習の習慣化を通して学習習慣の確立を図れば、基礎・基本の確実な力が付くであろう。	算数科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
長南東小	進んで健やかな心と体を作る 「東っ子」の育成 ～分かる楽しさ・できる喜びが 味わえる体育学習の実践を通 して～	児童の実態や発達段階に応じた運動特性に焦点をあて、その 状況にあった指導法を工夫することにより、進んで運動し、心 身ともに健やかな児童が育つであろう。	体 育 科
長南西小	確かな学力を身につけるための 授業づくりのあり方 ～教科・領域を通しての効果的 なICTの活用～	1 教科・領域でICTを効果的に活用する場面や方法を明らか かにしていけば、多様な活動が可能になるであろう。 2 児童一人一人にICTの操作技術が身につけば、自主的・ 意欲的に学習に取り組むことができるであろう。	全 教 科 全 領 域
長南小	基礎・基本の力を付けて、確か な読みのできる児童の育成 ～深め合わせる活動の工夫を通 して～	国語科の学習において、一人一人に自分の考えを持たせ、深 め合う活動を工夫すれば、確かな読みのできる児童が育つであ ろう。	国 語 科
豊栄小	かかわりの中で、自ら考え、判 断する子どもの育成 ～道徳の時間における判断力育 成の授業づくりを通して～	道徳の時間において、以下の点を重視しながら授業を構想し、 指導方法を工夫すれば、子どもたちは自ら考え、道徳的判断力 を高めることができるであろう。 (1) 資料の選択と効果的な活用 (2) 対話を中心とした表現活動の工夫 (3) 問題解決的な授業の構想	道 徳
土睦小	主体的・協働的に学び合う読む ことの学習の在り方 ～単元を貫く言語活動を位置づ けた授業づくりを通して～	単元全体を通して、付けたい力を明らかにした言語活動を設 定すれば、主体的・協働的に学び合う視点が明確になり、読む ことの力を高めることができるであろう。	算 数 科
瑞沢小	主体的に学び、確かな学力を 身につける児童の育成	小規模校の特質や課題を明らかにし、それに応じた指導方法 の工夫・改善を図れば、児童の学ぶ意欲が高まり、確かな学力 を育てることができるであろう。	全 教 科
一松小	命の大切さを考え、よりよく生 きる児童の育成 ～自助・共助の意識を高める防 災教育を通して～	1 地震や津波に関する理解を深め、状況に応じた安全な行動 がとれる児童を育成する。 2 命の大切さ、尊さを学び道徳的心情豊かな児童を育成する。 3 様々な防災活動を通して、児童・保護者・地域の防災意識 を高める。	特 別 活 動
八積小	自分たちの考えや思いを伝え合 うことで、主体的に学べる児童 の育成	1 教師が支援・手立ての工夫をすることで、児童が主体的に 考え、学習を進めることができるだろう。 2 学習内容に応じて、伝え合う場の工夫をすることにより、 学習する意欲が高まり、他の考えに共感したり、考えを深め たりすることができるだろう。	算 数 科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
高根小	自ら考え、表現する児童の育成 ～算数科における、伝え合い学び合う授業作りを通して～	1 問題把握や問題解決の場面において、基礎的・基本的知識や技能を活用できれば、自分の考えを持てるようになり、意欲的に友達に伝えることができるであろう。 2 課題に対して、発表や話し合いの仕方を工夫し、互いに学び合うことで表現力が高まるであろう。	算数科
東中	生きる力を支える確かな学力を持つ生徒の育成 ～基礎的・基本的学習内容の定着と活用を通して～	基礎的・基本的学習内容の定着と活用を図り、学び楽しさを実感できるわかる授業を実践すれば、学習に対する意欲を高め、確かな学力を身に付けることができるであろう。	全教科領域
富士見中	考える力を深め、豊かに表現できる能力の育成 ～学習過程の改善を通して～	1 生徒に身につけさせたい能力について検討し、課題を明確にすれば授業改善の方向性が明らかになるであろう。 2 思考力を深めさせる過程・表現力を育てる過程を工夫すれば学習プロセスを明確にできるであろう。	全教科領域
茂原中	確かな学力を身につけた生徒の育成 ～授業力の向上を通して～	各教科の学力観に基づき、「教師の授業に対する力量」と「生徒の自学自習の態度」を高める指導を工夫すれば、確かな学力の向上につながるであろう。	全教科領域
南中	生徒一人ひとりの人間力の向上 ～ICTを活用した指導を通して～	各教科の特性を生かしながら育める人間力の要素を整理し、学習指導の中でICTを有効・適切に活用し、学習活動を工夫すれば、学力が向上し、人間力が総合的に身に付くであろう。	全教科
本納中	共に学び、共に感じ、共に高め合う生徒の育成 ～学び合いの場の工夫を通して～	1 学習課題を明確にし、基礎的な知識・技能を活用する場面を意図的に位置づければ、共に学び、共に感じる生徒の育成ができるであろう。 2 多様なグループ活動の指導法を工夫すれば、より意欲的に活動し互いの良さを認め共に高め合う生徒を育成できるだろう。	全教科領域
早野中	主体的に学習に取り組み、豊かな表現力を育成する指導の工夫 ～学びを深める表現活動を取り入れた学習活動を通して～	1 学習課題や学習の流れを明確にすれば、見通しを持って、主体的に学習に取り組めるであろう。 2 学習活動における学びあう場を充実させれば、自ら考え表現する力が高まるであろう。	全教科領域
西陵中	自ら学び、思考し、表現する生徒の育成 ～学び合える場の設定の工夫を通して～	自己の考えを持ち、深めるための「学び合える場」の設定をし、学び合いの活動を充実させれば、思考し表現する力が高まるだろう。	全教科領域

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
一 宮 中	主体的に学び、確かな学力を身につける生徒の育成 ～豊かな表現力の育成をめざした活動場面の工夫～	1 すべての教科の授業の中で、考えたり話し合ったりして身につけた知識・技能を活用する場を設定し、活動させることで「表現力」が育つであろう。 2 少人数やグループ、ペア学習などの学習形態を取り入れ活動させることで、自ら表現しようとする意欲が高まるであろう。	全 教 科 全 領 域
白 子 中	めあてをもって授業に参加し、考え、学ぼうとする生徒の育成 ～授業と連動する家庭学習の在り方～	1 生徒が、広く好奇心や疑問を持ったり、基礎基本が定着できるよう、家庭学習の方法を工夫すれば、生徒がめあてをもって授業に臨むだろう。 2 わかる喜びを体験できる授業の工夫をすれば、進んで考え学ぶ態度が育つだろう。	全 教 科 全 領 域
長 柄 中	学ぶ喜びを感じ、主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～指導法の工夫・改善を通して～	1 指導目標を明確にし、目標に即した具体的な学習プロセスに対する評価項目を設定することで、生徒は習得すべきポイントが分かり、主体的に学習しやすくなるであろう。 2 魅力ある題材を精選したり、教材・教具・資料の効果的な活用方法を工夫したりすれば、生徒は興味・関心を持ち、学習意欲が向上するであろう。 3 個人やグループで考えたり、話し合ったり、実験・調査をしたりする活動の場を充実させれば、生徒自らが問題を解決する力・表現する力がついてくるであろう。	全 教 科 全 領 域
睦 沢 中	主体的に学び、互いに高め合う生徒の育成をめざして ～教科・領域の指導を通して～	1 学習課題を明確にし、学習過程の中で教え合ったり、意見を出し合ったりする場を設定すれば、お互いに高め合い主体的に学ぶ態度が育つであろう。 2 家庭学習の習慣化をはかることで、基礎・基本が身につく、主体的に学ぶ態度が育つであろう。	全 教 科 全 領 域
長 生 中	「確かな学力」の向上をめざして ～基礎的・基本的な知識・技能の確かな習得を図る学習指導のあり方～	基礎的・基本的な知識や技能の確かな習得を図るためには、以下の手段を講じれば、確かな学力の向上をめざせるであろう。 (1) 基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、活用したり、考えたり、表現したりする学習「教えて考えさせる指導」を行う。 (2) 生徒指導の機能を重視した「わかる授業」の展開を行う。	全 教 科
長 南 中	確かな学力を持ち、よりよく生きようとする、健康で心豊かな生徒の育成	1 各教科の授業の中で、家庭学習やドリルなど基礎学力の定着のための方策を工夫すれば、確かな学力を養うことができるであろう。 2 学び方や学習習慣の確立のための方策を工夫すれば、学習への興味・関心が高まり、課題解決の達成感を得られるであろう。 3 家庭との密接な協力・連携を図れば、学習環境が整い、学習意欲が高まるであろう。	全 教 科 全 領 域

平成27年度長期研修生紹介



☆数学科☆
 茂原市立東中学校 中館 武優
 〈研究主題〉
 思考力・表現力を育む学習指導の
 在り方
 ～「一次関数」における既習事項
 と関連付けて学習していく活動を
 通して～



☆美術科☆
 茂原市立茂原中学校 山口 晋
 〈研究主題〉
 生徒の表現力を豊かにするための
 題材開発
 ～身近な素材を生かした教材開発
 と年間計画の構築を通じて～

平成27年度 長期研修生 研究発表会のご案内

昨年度の長期研修生の研修成果を地域で共有することを一つの目的として、研究発表会を行います。特に、教研集会での提案者となっている先生方は、レポートのまとめ方など、是非参考にいただければと思います。多くの先生方の参加をお待ちしています。

○期日 8月10日(月)午後2時

○場所 長生教育会館2階大会議室

◇発表者◇

☆社会科☆ 長南町立長南中学校 椎原 政文

〈研究主題〉

地域の将来を考える身近な地域学習の在り方
 ～首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の開通と長南町の
 まちづくりを通して～

〈研究の概要〉

地理的分野の「身近な地域の調査」で、生徒が生活の舞台としている長南町の地域的特色と地域の課題をとらえた。長南町の課題を解決するために、隣接する長生地域、東京湾アクアラインとかかわりがある木更津市、圏央道が通っている関東地方の都市など他の地域の取組と長南町とを比較した。そして、圏央道を活かしたまちづくりを町議会議員に提案することができた。

☆理科☆ 茂原市立茂原中学校 関 智之

〈研究主題〉

電流・電圧をイメージ化して思考・表現できる指導の工夫
 ～モデル教材の活用と言語活動の充実をめざして～

〈研究の概要〉

電流・電圧は目に見えずイメージしにくい。そこで、水流モデルと抵抗モデルを製作し、効果的な活用場面と方法を探った。予想の場面に活用することで、根拠のある予想を立て、目的意識をもって実験に取り組むことができた。考察の場面では、予想と結果を比較して、モデル教材を基に、自分の考えを自分の言葉で書くことができたり、図やモデルを用いて説明できたりする生徒が増えた。

研 究 所 の 紹 介

所長 富田 新平(長生村立八積小学校)

調査部

〈研究主題〉
 家庭学習の実態・意識に関する調査研究



徳永 哲生
 (茂原市立富士見中学校)
 市原 剛志
 (長生村立長生中学校)
 安藤 和人
 (長南町立長南中学校)
 白土 俊幸
 (睦沢町立睦沢中学校)

家庭学習に対する子どもたちの実態や保護者の意識、茂原市・長生郡の小中学校での家庭学習に対する取り組みや教員の意識を調査します。学力向上に向けて、家庭学習充実への取り組みや保護者への働きかけがどのように行われているのかのデータ・知見を提供します。

研修部

〈研究主題〉
 特色ある教育活動で、生きる力を育む教育の実現を目指して



船見 貴之
 (長柄町立長柄中学校)
 矢代 朋美
 (茂原市立鶴枝小学校)
 上島 雅宏
 (茂原市立本納小学校)
 西谷 美里
 (一宮町立一宮中学校)

「研究所だより」の発行や各種研修会の運営を行っています。

情報部

〈研究主題〉
 校務の効率化を目指して



小玉 明守
 (茂原市立豊岡小学校)
 野村 隆之
 (茂原市立東郷小学校)
 茂住 卓生
 (茂原市立本納中学校)
 渡邊 耕一
 (白子町立南白亀小学校)

校務に活用できるコンテンツを作成し、データを紹介します。

お知らせ

多くの指導案等のご寄贈をいただき、ありがとうございます。教育情報誌は貸し出しも行っていきますので、是非お気軽にご利用ください。事前にご連絡いただければ、可能な限りの資料をご用意させていただきます。

主事 中山 勝巳(茂原市立萩原小学校)